

第52回 近畿児童養護施設研究協議会さかい大会 開催要綱

「これからの社会的養護の役割」

オンライン
開催

～現場の実践を見つめなおそう～

1. 目的（大会趣旨）

2020年上半旬に新型コロナウイルスが日本で確認され、その後、全国で緊急事態宣言が発令され、社会的養護下で生活をする子どもたちにも大きな影響を与えました。1年以上経過した現在、緊急事態宣言は解除されたものの、まだまだ予断を許さない状況が続いています。そのような中、2020年度、2021年春と二度にわたり、さかい大会も延期とされようやく今秋11月にオンライン研修会で実施する運びとなりました。

前回10年前のさかい大会では、「社会的養護の役割と人権擁護～現場の実践をより具体的に話していこう～」をテーマに現場での実践をより具体的に語り合う事を目的に実施しました。

そこから今日に至る約10余年の歳月は、社会的養護を担う施設にとっては激動の期間といっても過言ではなく、自立支援、アフターケア、家庭支援、地域貢献、第三者評価の義務化等に加え、都道府県社会的養育推進計画が策定され、昨年4月より各地域でスタートされました。施設の小規模化・地域分散化と里親委託の一層の推進が求められる中、施設機能の高機能化・多機能化を目指した取り組みがより一層求められています。

そのような中で、全国児童養護施設協議会では『今後の児童養護施設に求められているもの』の最終報告書がまとめられ、今までの児童養護施設の実践の振り返りと社会的養育としての「支援拠点機能」という高機能化の基盤となることが求められている状況です。

コロナ禍において社会的養護の現場は、感染防止対策に取り組む中、改めて子どもたちの命を預かり、日々の養育支援が子どもたちの安全・安心な生活に繋がっていることを再確認できました。そこで本大会では、「これからの社会的養護の役割～現場の実践を見つめなおそう～」をテーマに、コロナ禍を経験したからこそ、改めて子どもたちが安心・安全な生活を送るために、養育支援にあたる我々が現場の実践の中でどのようなことを大切にすべきかを振り返り、職員自身も日々の実践を見つめなおすことを目的とします。

2. 主催

近畿児童養護施設協議会

3. 後援

堺市 大阪府 大阪市 堺市社会福祉協議会 大阪府社会福祉協議会 大阪市社会福祉協議会

4. 開催期日

令和3（2021）年11月30日（火） 13時00分 ～ 17時00分

5. 開催方法

オンライン開催（ミーティングアプリ Zoom での Live 配信）

*ミーティング ID などの詳細は受付後、ご連絡差し上げます

*Zoom の利用方法については、別紙参照の上、ご参加ください。

6. 定員

400名（回線ごとのお申し込みが必要です）

7. 参加対象者

児童養護施設職員等

8. 参加費

1名につき 2,000円

9. 申込期限

令和3（2021）年11月10日（水）

10. お問い合わせ先

○大会運営に関するお問い合わせ

第52回近畿児童養護施設研究協議会さかい大会運営委員（事務局 東光学園）

TEL：072-237-6161 FAX：072-235-6005（担当 下笠）

○申込に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 大阪第1支店 〒542-0076 大阪府中央区難波4丁目7-14

TEL：06-6645-8080 FAX：06-6645-8090（担当 山田/水戸/福森）

11. 内容

○開会式・主旨説明 13：00 ～ 13：20

○講 演 13：20 ～ 14：10

基調講演：「これからの社会的養育の展開について

～全養協からの情勢報告～

**講師：桑原 教修氏（全国児童養護施設協議会 会長
舞鶴学園 統括施設長）**

○分 科 会 14:30 ~ 16:30

第1分科会：「施設における危機管理のあり方」

講師：桑原 教修氏（全国児童養護施設協議会 会長
舞鶴学園 統括施設長）

発題：城村 威男氏（大阪市 入舟寮）

進行：竹崎 博幸氏（大阪府 翼）

第2分科会：「社会的養護の当事者の『声』からインケアを考える」

講師：長瀬 正子氏（佛教大学 准教授）

発題：森本 竜久氏（兵庫県 広畑学園）

進行：中條 薫氏（大阪府 羽曳野荘）

第3分科会：「性の課題へ向けた予防的ケア」

講師：中島 淳氏（大阪府岸和田子ども家庭センター）

発題：竹島 隆二氏（奈良県 飛鳥学院）

進行：乾 隆雄氏（堺市 泉ヶ丘学院）

第4分科会：「施設職員の“やりがい”について考える」

講師：内海 新祐氏（神奈川県 旭児童ホーム）

発題：稲葉 敬斗氏（和歌山県 こぼと学園）

進行：谷口 民人氏（堺市 愛育社）

○閉 会 式 16:40 ~ 17:00

12. 各分科会について

第1分科会「施設における危機管理のあり方」

2020年、全世界が新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受け、本邦においても非常事態宣言が発令され、長期間、移動制限や休業措置、外出等の自粛が余儀なくされました。

この間、施設内では登校できない子どもたちへの対応に職員は追われ、心身共に消耗をし、子どもたちもさまざまな制限下においてストレスを溜め、行動問題を表出することも多かったように思えます。このように、かつてない危機状態においてリスクマネジメントやメンタルヘルス、ストレスマネジメントなどの課題もありますが、その対応には「変化への適応性」や「新しい枠組みを設けるための実行力」や「牽引するリーダーシップ」など、施設の方向性・方針を決定づける施設長の役割が非常に大きいものとなります。ここでは、各施設の新型コロナウイルス感染防止の取り組みを通して、施設長の役割や姿勢、組織の危機管理のあり方について考えたいと思います。

第2分科会「社会的養護の当事者の『声』からインケアを考える」

アフターケアについては国も様々な制度の充実を図っており、「新しい社会的養育ビジョン」においても、児童相談所設置自治体の責任の明確化と制度的枠組みの構築等が明記され、実態把握や支援の拡充に向けた取り組みが行われています。

そのような中、施設ではケアリーバーへさまざまなアフターケアの取り組みが実践されていますが、施設と繋がりを保っている子どもたちへの支援を拡げていくことは可能ではありますが、そうでない子どもたちへの支援については課題が残っています。子どもが施設を退所しても「繋がり」を持つことができるようにインケアでどのような支援が必要か、またインケアの充実を図るために、いかにして日々の養育支援に取り組めば良いのかを、アフターケアの実践を通して、インケア～リビング～アフターケアが連続したものとなるよう、施設の主たる養育支援であるインケアについて改めて見つめ直したいと思います。

第3分科会「性の課題へ向けた予防的ケア」

2019年度、厚生労働省によって児童福祉施設における性問題に関する調査を実施し、報告書がまとめられました。その中で児童養護施設には、育った環境や被虐待等の逆境体験によるトラウマを要因として性問題等のさまざまな問題が発生するリスクがあることを認識しておく必要があるとされています。子どもたちの養育の中で、どのような予防的なケアを繰り返し広げていけば良いのか、職員が日常的に「性的ヒヤリハット」等の危機意識を高め、子ども集団の中で感じた違和感をいかに拾い上げ、施設全体で予防に取り組んでいくべきかを事例を通して考えたいと思います。

また、従来のような力関係の中で起こる性加害・被害だけでなく、対等な関係性の中にみられるアタッチメントの課題由来の性化行動に対する対応やケアについても考えていきます。


第4分科会「施設職員の“やりがい”について考える」

社会的養護を必要とする子どもたちの抱えている背景や根深さ、虐待の影響などからくる子どもの状態は非常に重篤化かつ複雑化してきており、養育支援において施設職員が困難と感じる場面を目のあたりにします。また、同時に悩み、理解し難い子どもの言動に関わる中で、職員が焦りや恐れ、無力感を抱いたり、つい感情的になってしまったりすることも少なくありません。養育現場で子どもと支援者である職員との関係性の中で起きている事柄を通して、日々の実践を振り返る機会にしたいと思います。

そして、児童養護施設の昨今の目まぐるしい変動の中で、施設職員の役割とは、支援において何を大切にすべきかを改めて考え、施設だからこそできる養育支援のあり方について模索し、そこにつながる職員の『やりがい』について考えていきます。

第52回近畿児童養護施設研究協議会さかい大会

参加申込について

- ①下記QRコードもしくはURLより、大会申込サイトへアクセスしてください。
*1メールアドレスで1お申込となりますので、複数名のお申込時には、それぞれ個別のメールアドレスにてお申込をお願いいたします。
*参加登録〆切は11月10日(水)厳守
- URL: <https://www.mwt-mice.com/events/kinyokyo2021sakai>
- 
- ②申込サイトトップ画面にある「新規お申し込みはこちら」をクリックしてください。
 - ③必要事項をすべてご入力の上、ご確認いただき、最後に画面下の「申し込む」をクリックしてください。
 - ④申込完了後に、登録されたメールアドレスに登録完了と参加費振込のご案内を送信いたします。ご案内受信後1週間以内にお振込をお願いいたします。
*「@mwt.co.jp」からのメールを受信できるよう、予めお使いのメール設定をお願いいたします。
*参加費入金後の参加取消は原則(大会当日、新型コロナウイルス陽性・濃厚接触等の理由でも対応しかねます)として返金対応をいたしかねます。
 - ⑤ご入金確認後、11月中旬をめどに、全体会参加にかかる「URL」「ID」「パスワード」、分科会参加にかかる「URL」「ID」「パスワード」を送信いたします。また、基調講演及び分科会の資料も登録アドレスに送付いたします。
*全体会と分科会の参加「URL」「ID」「パスワード」は別ですので、ご注意ください。



○大会運営に関するお問い合わせ

第52回近畿児童養護施設研究協議会さかい大会運営委員(事務局 東光学園)
TEL: 072-237-6161 FAX: 072-235-6005 (担当 下笠)

○申込に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 大阪第1支店

〒542-0076 大阪市中央区難波4丁目7-14

TEL: 06-6645-8080 FAX: 06-6645-8090 (担当 山田/水戸/福森)

○当日の緊急連絡先: 090-3355-7091 (11/30のみ有効)

研修参加にあたって

【オンラインでの参加方法について】

○「ZOOM」というツールを使い、オンラインで実施いたしますので、安定したインターネット環境が必要です。事前に通信状況等をご確認ください。インターネット環境の不備などで参加ができなかった場合でもご対応いたしかねますのであらかじめご了承ください。

○参加に適した環境（個室）をご準備ください。また、同一施設で複数名参加の場合など、同じ部屋の近くで複数台のパソコンで参加しますと、ハウリングの可能性もあります。ヘッドセット（イヤホン・マイク）を利用し、部屋を別にする・席を離れるなど、事前にハウリングが起きないか、確認するなど対応をお願いします。

○事前に、ZOOM のダウンロードとインストールが必要になります。また、インストール済みの場合でも、必ず最新版に更新をしておいてください。

○音声は、基本「ミュート」に設定し、音漏れをしないようにしておいてください。マイクがオンの状態だと、参加者の方の声また周囲の環境の音を拾い、参加者全員の方に共有されてしまいます。会議中に発言をする際は「ミュート」を外し、発言するようにしてください。

○カメラは、基本「カメラオン」に設定し、お顔がわかるようにしてご参加ください。また「名前」の表示を「施設名 氏名（例：〇〇園 福祉太郎）」に変更ください。

○ご質問や事務局への連絡は、チャット機能もご利用ください。

○下記の準備が必要になります。

- ・パソコン
- ・マイク（パソコン内蔵・ヘッドセットであれば不要）
- ・Web カメラ（パソコン内蔵であれば不要）
- ・インターネット環境（可能であれば有線 LAN）
- ・研修受講に適した環境（個室など可能な限り受講者以外の声が入らない環境）

トラブルが生じた場合は

090-3355-7091（11/30 専用回線）

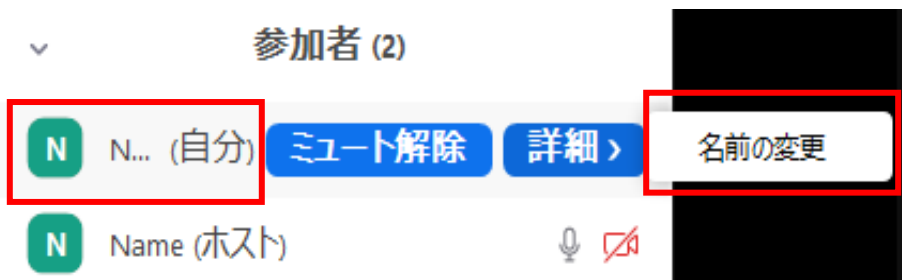
【さまざまな設定方法について】

名前の変更方法

①画面下の「参加者」マークをクリック



②参加者の一覧が表示されたら、自分の名前を確認

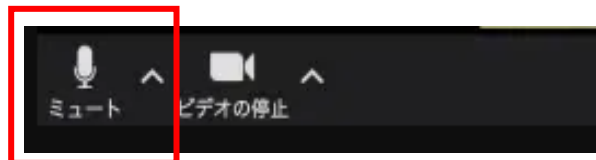


③自分の名前（“自分”と表示されている）にカーソルを合わせてタップする

④「詳細」がでてくるので、「名前の変更」を選択し「施設名 参加者氏名」を入力する

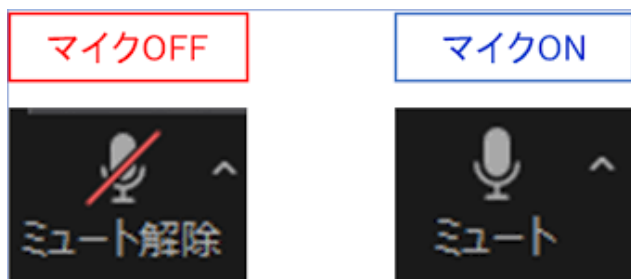
音声のオンオフ切り替えの方法

①画面下の「マイクのマーク」をクリック



②マイクのマークに斜線がかかり「ミュート（マイクオフ）」になる。「ミュート」中は、自分の声は相手には聞こえない。

③もう一度「マイクのマーク」をクリックすると「マイクオン」になる。



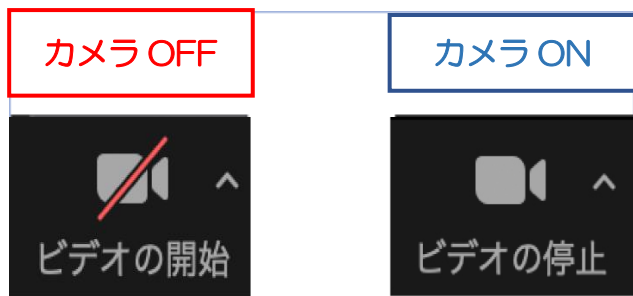
カメラのオンオフ切り替えの方法

①画面下の「ビデオのマーク」をクリック



②ビデオのマークに斜線がかかり「ビデオの停止（カメラオフ）」になる。「ビデオの停止」中は、自分の顔は相手には見えない。

③もう一度「ビデオのマーク」をクリックすると「カメラオン」になる。



チャット機能の使い方（離席のお知らせ時やご質問等を入力ください）

①画面下の「チャット」をクリック



②メッセージ入力のスペースが出てくるため、そこに入力し送信

